



宮ノ陣

校訓

自主
友愛
真理

志をもって意欲的に学び自律心と
感謝の心をもつたくましい生徒
“ 凡事徹底 ”・“ 共感、共汗、共歓 ”

《 文責 》 校長 荒木 修

生徒会スローガン “宮中改革” ～ 第一幕『体育祭・“一”』成功裏に終了～



5月21日(土)、学校の二大行事の一つとも称される体育祭を実施しました。この体育祭の最も大きな成果は、生徒の皆さんが自分たちの力で見事に成功に導いたことにあります。この数年間、生徒の皆さんが頑張る姿を、いろいろな場面で見してきましたが、『学校が生徒の力で動いている』、この姿こそが宮ノ陣中学校を、大きく前進させていることを感じています。先生から指示をされたり、注意をされたりするのではなく、『生徒のみなさんが考え、自らの力で運営する学校』に変わってきています。無論、この姿になってきたのは、これまで宮中で頑張ってきた先輩方の努力があってこそであるということを忘れることはできません。

今年の生徒会スローガンである『宮中改革』の第一幕『体育祭』は良い形で幕が下りました。第二幕がどのような場面で幕を開け、その時、どのような変化が見られるのか期待しています。

体育祭実行委員長のことば ～ 閉会式より ～

お疲れさまでした。みなさん、今日の体育祭はどうでしたか。楽しかった人は拍手をお願いします。みなさんの最後まで諦めず、一生懸命に競技を行う姿、応援する姿、赤・青関係なく拍手などしてお互いをたたえ合う姿、自分の仕事を最後までやり抜く姿、とっってもかっこ良かったです。でもそれは、みなさんが日に日に成長していった結果だと思います。最初の頃は、リーダーのみなさん、自分の思い通りになかなかいかず、何度も何度も頭をかかえたことでしょう。



3年生のみなさんは、例年に近い形の体育祭は初めてで、なかなか1・2年生をまとめることが難しかったと思います。2年生のみなさん、先輩という立場になり、やるが増え、精神的にも体力的にも大変だったと思います。1年生のみなさん、中学生初めての体育祭でわからなかったことも多かったと思います。僕たちは、そういう色々な悩みや不安を学級やブロックの仲間たちと声を掛け合ったり、励まし合ったりして乗り越えてきたのです。

[裏面に続く]

今日は、お互いが競い合ったことで勝敗がつき、嬉しい人、悔しい人、それぞれいることでしょう。ですが、僕は勝敗以上にこの体育祭で得られたものがあると思います。それは、全力で練習に取り組んできた僕たちなら、きっとわかるはずです。だから、みなさんここまで頑張れた自分に自信を持って下さい。そしてこの体育祭で得たものを、これからの学校生活につなげていってください。



保護者のみなさん、この体育祭期間中、僕たちの体調を気遣ってくださり、ありがとうございました。そのおかげで僕たちは、今、こうやって元気に体育祭という舞台に立てました。



先生方、今日は体育祭という最高の舞台を用意していただき、ありがとうございました。また、練習期間中も僕たちのことを見守ってくださり、ありがとうございました。ときには、僕たちのことを思って厳しく声をかけたり、褒めてくださったりして、それが僕たちの支えになりました。そして、その支えのおかげで僕たちは、この体育祭を全力で楽しむことができました。

さあ、みなさん、ここからが宮中改革のスタートです。

体育祭スローガン「一 ～ 一人一人が輝き、学校全体が一つになれる体育祭へ～」のように、これからも一人一人の個性が輝き、宮中全員の心が一つになるように、みなさんでよりよい宮ノ陣中学校をつくりあげていきましょう。



最後に僕は、この素晴らしい体育祭で実行委員長という立場をさせていただき、本当によかったです。例年通りの体育祭は初めてで、最初は、自分に仕事ができるか心配でした。でも、色々な人たちから声をかけてもらい、ときには休んだこともあったけど、ここまで頑張ることができました。ここまで頑張ってくれたのは、みなさんのおかげです。本当にありがとうございました。

体育祭実行委員長 高野 剛

